

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】令和5年6月14日(2023.6.14)

【公開番号】特開2022-185184(P2022-185184A)

【公開日】令和4年12月14日(2022.12.14)

【年通号数】公開公報(特許)2022-230

【出願番号】特願2021-92689(P2021-92689)

【国際特許分類】

H 01 L 21/56(2006.01)

10

B 29 C 43/18(2006.01)

B 29 C 43/32(2006.01)

【F I】

H 01 L 21/56 R

B 29 C 43/18

B 29 C 43/32

【手続補正書】

【提出日】令和5年6月5日(2023.6.5)

20

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0044

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0044】

また、本実施形態においては、ワークWをキャビティプレート236の上面における所定位置に保持するワーク保持機構が設けられている。このワーク保持機構は、一例として、キャビティプレート236及び下プレート224を貫通して配設された吸引路240aを介して吸引装置(不図示)に連通している。具体的には、吸引路240aの一端が下型206の金型面206aに通じ、他端が下型206外に配設される吸引装置と接続される。これにより、吸引装置を駆動させて吸引路240aからワークWを吸引し、金型面206a(ここでは、キャビティプレート236の上面)にワークWを吸着させて保持することが可能となる。さらに、吸引路240aを備える構成と並設して、ワークWの外周を挟持する保持爪を備える構成としてもよい(不図示)。

30

40

50